



追加型投信 / 海外 / 債券

豪ドル毎月分配型ファンド 決算・分配金のお知らせ

ファンド情報提供資料
データ基準日: 2017年7月18日

平素は「豪ドル毎月分配型ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、当ファンドは2017年7月18日に第169期(2017年6月16日～2017年7月18日)の決算を迎え、当期の分配金を55円(1万口当たり、税引前)といたしましたことをご報告いたします。
今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

分配金と基準価額(2017年7月18日)

分配金(1万口当たり、税引前)

55円

基準価額(1万口当たり、分配落ち後)

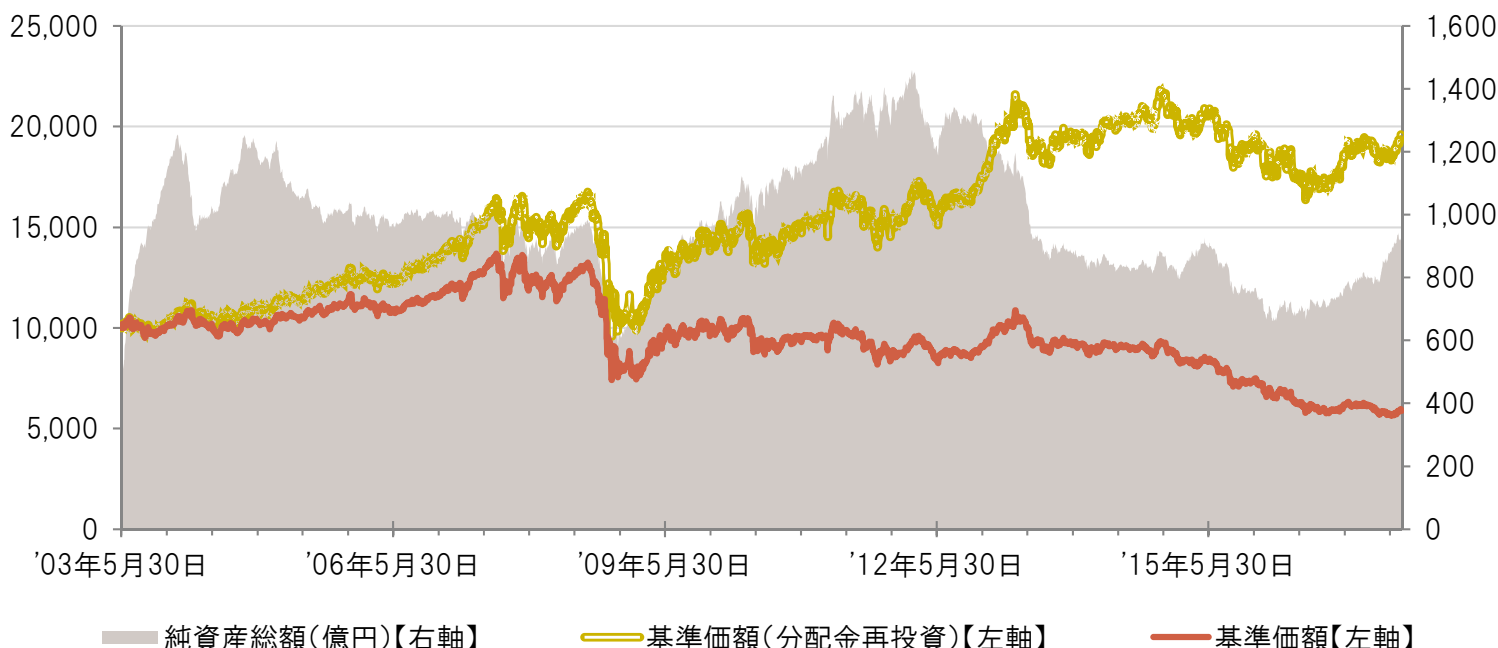
5,883円

【分配金実績(1万口当たり、税引前)】

第165期 (2017年3月)	第166期 (2017年4月)	第167期 (2017年5月)	第168期 (2017年6月)	第169期 (2017年7月)	設定来累計
75円	75円	75円	75円	55円	10,736円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

基準価額の推移(期間: 2003年5月30日～2017年7月18日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

豪ドル毎月分配型ファンド

Q1. なぜ分配金を変更したのですか？

当ファンドは、豪ドル建ての公社債を主要投資対象とし、信用度の高い公社債に分散投資することにより、安定した収益の獲得をめざして運用を行ってまいりました。当ファンドの投資対象である豪ドル建ての債券について2017年の市況を振り返ってみると、豪州債券は総じて堅調な推移を続けているほか、豪ドルも円に対して若干ではあるものの豪ドル高・円安の推移となっています(2017年6月末現在)。一方、ファンドの運用状況についてみると、安定分配をめざすこととして毎月75円の分配を行ってきたことなどからファンドの基準価額は10,000円を割り込んだ水準にあり、また分配対象額も減少傾向にあります。

上記のような状況を鑑み、利子収益や売買益などの状況に加え、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を総合的に勘案し、当期の決算において分配金の見直しを行うことといたしました。

Q2. 2017年の市場環境およびファンドの運用状況について教えてください

【債券市況】

2017年1月～6月までの豪州債券市況は、おおむね堅調な推移となりました。

2017年初から3月中旬にかけては、欧州政治や米トランプ大統領の政策を巡る不透明感の高まり等を背景に、豪州債券利回りは低下、豪州債券市況は堅調な推移となりました。また、3月中旬から5月末にかけては、米医療保険制度改革法代替法案の採決見送りに伴う米トランプ大統領の政策不透明感の高まりや、米国のシリア空爆に伴う地政学リスクの高まり等を背景に、豪州債券利回りはさらに低下、債券市況は上昇する展開となりました。一方で、6月に入ると、堅調な豪州経済指標等が豪州債券利回りの上昇要因となり、豪州債券市況は軟調に推移しました。

【為替市況】

2017年1月～6月までの豪ドル／円市況は、若干の豪ドル高・円安となりました。

2017年初から3月中旬にかけては、欧州政治や米トランプ大統領の政策を巡る不透明感等を背景とした投資家のリスク回避姿勢等が豪ドルの対円での下落要因となった一方で、米国をはじめ株価が上昇したことや鉄鉱石価格が堅調に推移したこと等は豪ドルの対円での上昇要因となりました。こうした環境下、豪ドルは対円で上昇する展開となりました。しかしながら、3月中旬から5月末にかけては、米国のシリア空爆に伴う地政学リスクの高まりや、米トランプ大統領の政策を巡る不透明感の高まりに加えて、鉄鉱石価格が軟調に推移したこと等を受けて、豪ドルは対円で下落しました。

6月以降は、堅調な豪州経済指標等の発表等を背景に、豪ドルは対円で上昇しました。

【運用状況】

このような市場環境下、当ファンドにおいては、社債への配分比率を高めとし、デュレーション(平均回収期間:金利の変化に対してポートフォリオ価値がどの程度変化するかを目安となります)を年初よりベンチマーク*対比長めの水準として運用を行ってまいりました。なお、デュレーションについては、豪州債券市況の上昇(利回り低下)を受けて利益確定を行いつつ、ベンチマーク並みの水準としました。

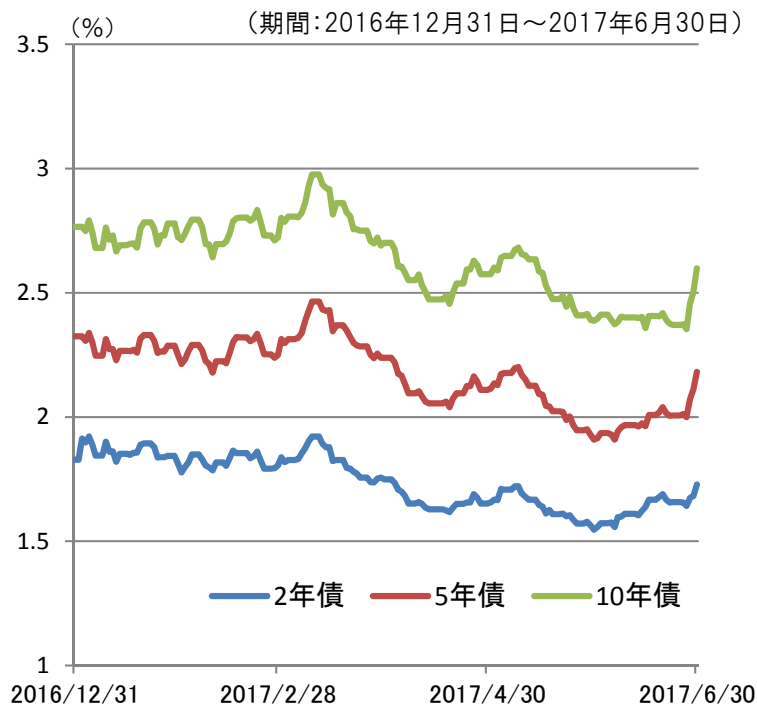
2017年1月～6月の期間においては、①豪州債券市況がおおむね堅調な推移となったことや、②豪ドルが対円で上昇したことなどがプラスとなり、基準価額(分配金再投資ベース)は2016年末比で上昇しました。

*ベンチマークはブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(0-3年、円換算ベース)です。詳細については6ページをご覧ください。

■上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

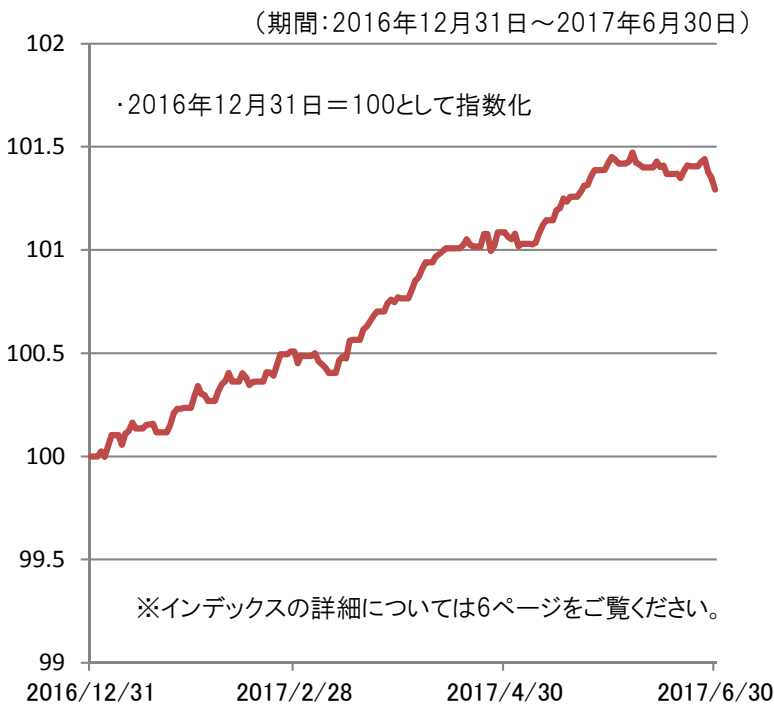
豪ドル毎月分配型ファンド

豪州債券利回りの推移



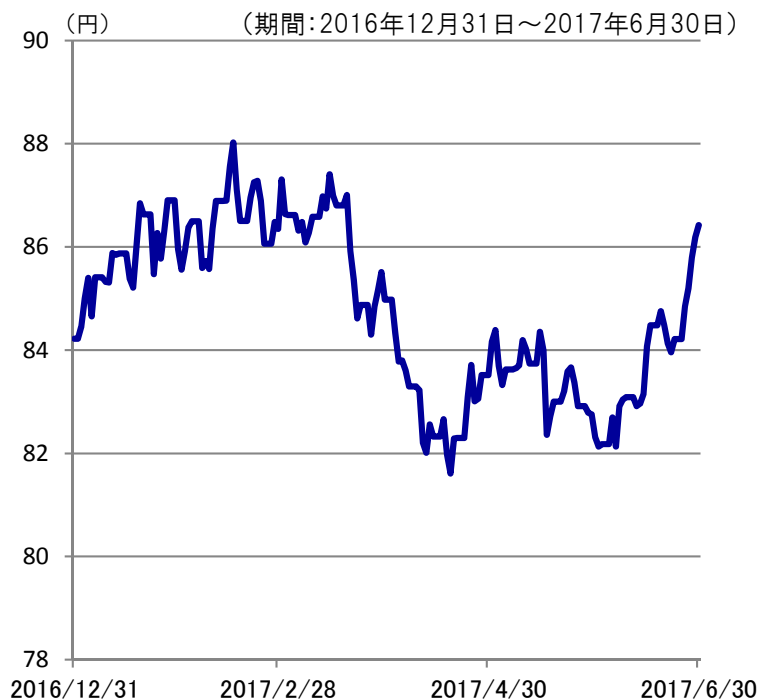
(出所)Bloomberg社のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(0-3年)の推移 (豪ドルベース)



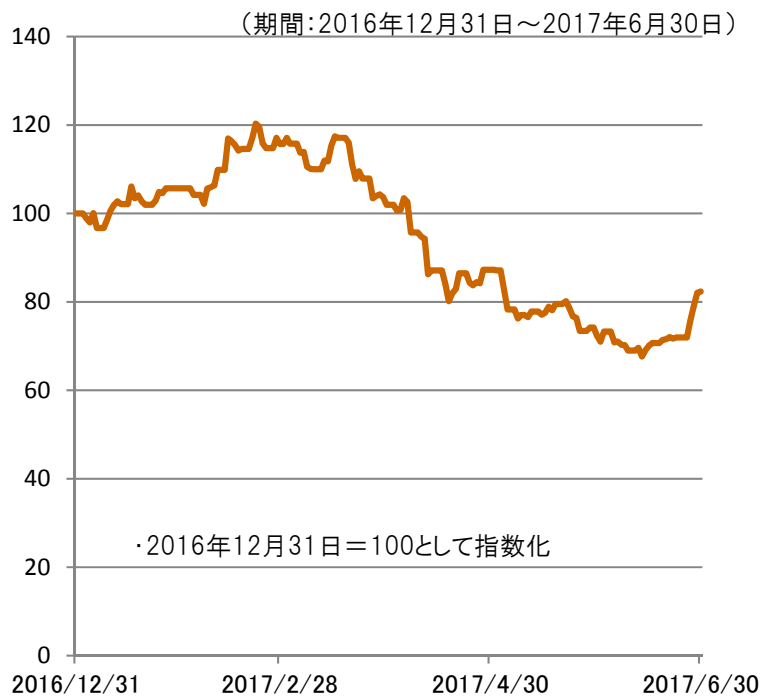
(出所)Bloomberg社のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

豪ドル(対円)の推移



(出所)Bloomberg社のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

鉄鉱石価格の推移



(出所)Bloomberg社のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりません。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご確認ください。

豪ドル毎月分配型ファンド

Q3. 今後の豪州債券市場・豪ドルの見通しおよび運用方針について教えてください

【債券市況の見通しと運用方針】

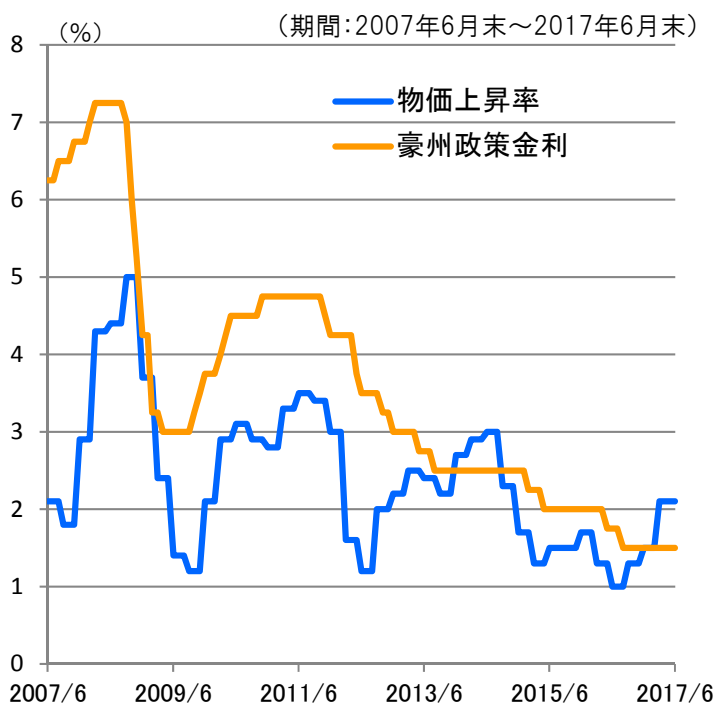
世界経済は緩やかな回復基調が続き、米国では市場との対話を重ねながら慎重に金融正常化が進められていくとみています。一方で、ポピュリズムの台頭、米トランプ大統領の政策を巡る不透明感や地政学的リスクの高まり、中国の動向などが金融市場のリスクとなると考えています。豪州国内においては、低成長と低インフレが続いていること、雇用の状況を示す経済指標が強弱入り混じっていること等から、豪州準備銀行(RBA)は当面現在の金利水準を維持すると予想しています。

ポートフォリオにおいては、今後も金利水準や市場心理等を考慮しながら、必要に応じてデュレーション調整を機動的に行ってまいります。また、組入債券の種別戦略に関しては、信用スプレッド水準を考慮しながら種別の組入比率を調整する方針です。新規発行銘柄については、割安と判断される場合には積極的に組入れを検討いたします。

【為替市況の見通し】

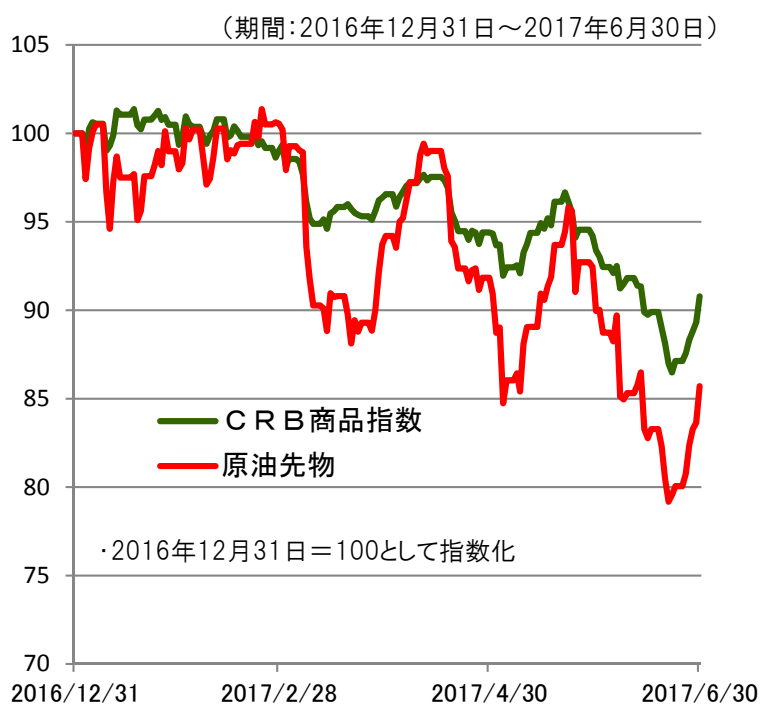
豪ドルについては、米国の金利動向や資源価格の動向などに左右される展開が予想されます。資源動向においては、原油をはじめとして商品市況全般が下落していることがマイナス材料となっています。一方で、足下で鉄鉱石価格に底入れの兆しが見られていることはプラスの材料です。長期的には、豪州の景気拡大が継続しインフレ率が底打ちする中、中国を中心としたアジア経済が堅調に推移すれば、豪ドルは堅調な推移となることが期待されます。また、豪州国債の格付けが高いことも、豪ドルの下支えとなるものと思われれます。

豪州政策金利と物価上昇率の推移



(出所)Bloomberg社のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

原油・商品市況の推移(米ドルベース)



(出所)Bloomberg社のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■上記は、過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

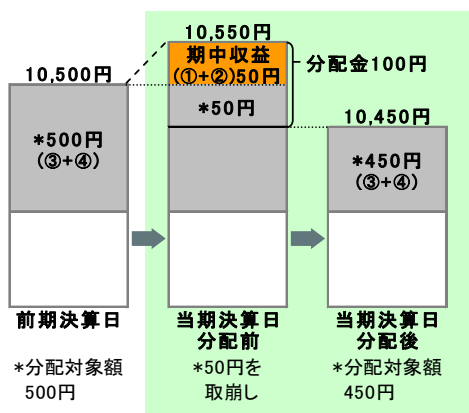


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

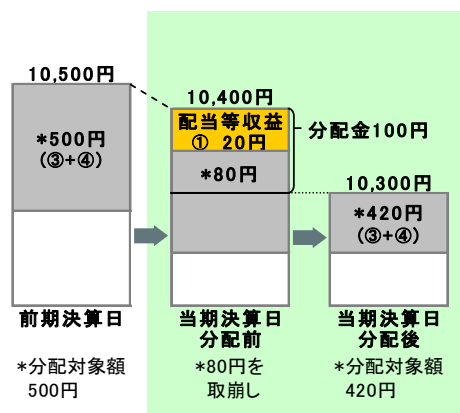
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



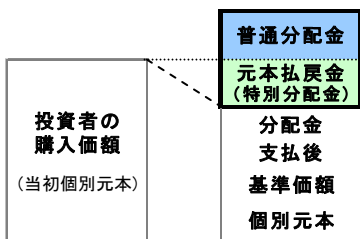
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

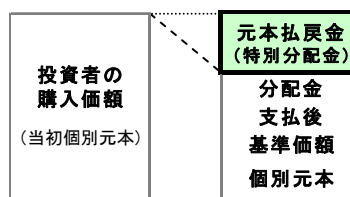
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

[金額を指定して購入する場合]

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

[口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくこととなります。

豪ドル毎月分配型ファンド

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

豪ドル建ての公社債を主要投資対象とし、信用度の高い公社債に分散投資することにより、安定した収益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

特色1 豪ドル建ての公社債を主要投資対象とし、豪ドルベースでの安定的な運用をめざします。

- ・高格付けの豪ドル建ての国債、政府機関債、州政府債、社債、資産担保証券(ABS)、モーゲージ証券(MBS)、国際機関債等に分散投資します。
- ・組入債券の平均格付けは、原則としてAA-格相当以上を維持し、信用リスクの低減をめざします。また、投資する債券は、原則として購入時においてA-格相当以上の格付けを取得しているものに限定します。
- ・組入債券の平均デュレーションは、原則としてベンチマークであるブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(0-3年、円換算ベース)±1年以内とし、金利変動リスクの低減をめざします。
- ・組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

特色2 運用は、豪ドル建債券運用に実績があるUBSアセット・マネジメント(オーストラリア)リミテッドに委託します。

特色3 毎月の安定分配をめざします。

- ・毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。
- ・債券の利子収益や売買益(評価益を含みます。)等を原資として、毎月の決算時に安定した収益分配を行うことをめざします。
- ・分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ※ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(0-3年)とは、オーストラリアの債券市場の値動き(豪ドルベース)を表す指数で、残存期間が3年以内の銘柄で構成されています。ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(0-3年)は、従前、UBSオーストラリア債券インデックス(0-3年)と呼ばれていました。ブルームバーグは、2014年3月に、UBSから、ブルームバーグ・オーストラリア債券指数の一群を取得しました。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)は、三菱UFJ国際投信株式会社(以下、委託会社)の関係会社ではなく、当ファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(0-3年)は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標またはサービスマークであり、委託会社に対してライセンスされています。ブルームバーグは、ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(0-3年)に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(0-3年、円換算ベース)は、ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(0-3年)をもとに、委託会社が計算したものです。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの**運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。**

したがって、**投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。
信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

豪ドル毎月分配型ファンド

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万円当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	1万円単位または1口単位のいずれか販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・シドニー先物取引所、シドニーの銀行の休業日 ・シドニーにおける債券市場の取引停止日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	無期限(2003年5月30日設定)
繰上償還	受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎月15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に対して、 上限2.16%(税抜 2%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.2% をかけた額

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 年率1.188%(税抜 年率1.1%) をかけた額
その他の費用・手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会:一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <http://www.am.mufig.jp/>
<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034
(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

ファンド名称: 豪ドル毎月分配型ファンド

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社 四国銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第3号	○			
株式会社 第四銀行(*)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第47号	○		○	
大万証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第14号	○			
株式会社 南都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第15号	○			
株式会社 北洋銀行(*)	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第3号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
株式会社 三菱東京UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	○		○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
株式会社 山形銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第12号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

※商号欄に(*)の表示がある場合、新規申込のお取扱いを中止しております。